

学部 / 看護専門領域 / 健康・疾病・障害の理解 科目コード：130010 人間病態学（病気の成り立ち） Human Pathology					
担当教員	今井 美和				
実務経験	病院勤務経験のある教員が担当				
開講年次	1年次後期	単位数	2	授業形態	講義
必修・選択	必修	時間数	30		
Keywords	病理、病因、微生物、感染、予防、細菌、ウイルス、真菌、原虫、細胞傷害、免疫、炎症、創傷治癒、循環障害、先天異常、腫瘍				
学習目的・目標	目的：疾患の成り立ちを理解するうえで重要な基本的病変、生体防御機構、病原微生物の基礎的事項について学ぶ。 目標：病理学および微生物学の専門用語を説明できる。				
授業計画・内容					
回	内容				
1	オリエンテーション 病理学概論：疾病の分類 病因：内因、外因				
2-5	微生物学総論： 生物の分類、細胞内寄生体、細胞外寄生体、歴史、感染、感染症、伝染病、 感染源、感染経路、宿主、宿主－寄生体関係、常在微生物叢、媒介動物 日和見感染、菌交代症、人獣共通感染症、新興感染症、再興感染症、院内感染、食中毒、性感染症、輸入感染症、 感染症法、予防接種、滅菌、消毒、化学療法、薬剤耐性 微生物の特徴：形態、分類、増殖 細菌：グラム陽性菌、グラム陰性菌、マイコプラズマ、リケッチア、クラミジア ウイルス：DNAウイルス、RNAウイルス プリオン 真菌：接合菌類、子囊菌類、担子菌類、不完全菌類 原虫：アメーバ類、鞭毛虫類、繊毛虫類、孢子虫類				
6	細胞傷害： 萎縮、肥大、過形成、化生、変性、壊死、アポトーシス				
7-9	免疫： MHC、HLA、自然免疫、獲得免疫、免疫担当細胞、サイトカイン、抗原、抗体、抗原認識、補体、 免疫応答、細胞性免疫、液性免疫、感染防御免疫、腫瘍免疫 炎症： 徴候、炎症に関わる細胞、炎症反応、急性炎症、慢性炎症、肉芽腫性炎 創傷治癒： 再生、肉芽組織、瘢痕				
10-11	循環障害： 水腫（浮腫）、虚血、充血、うっ血、出血、止血、血栓症、塞栓症、梗塞				
12	先天異常： 奇形、染色体異常、遺伝子異常、胎児障害				
13-15	腫瘍： 良性腫瘍、悪性腫瘍、上皮性腫瘍、非上皮性腫瘍、混合腫瘍、がん腫、肉腫、 浸潤、転移、異型度、分化度、悪性度、異形成、深達度、病期、宿主への影響、疫学、発生病理				
教科書	カラーで学べる病理学（ヌーヴェルヒロカワ） ビジュアル微生物学（ヌーヴェルヒロカワ） 人間病態学（病気の成り立ち）プリント				
参考図書等	ルービン カラー基本病理学（西村書店）				
評価指標	定期試験の受験資格：履修登録をしている。授業回数の2/3以上出席している。 定期試験の結果 90% ＋ 受講態度等 10% で評価する。				
関連科目	解剖生理学、代謝と栄養、人間病態学演習Ⅰ、人間病態学演習Ⅱ、疾病障害論、臨床薬理学、公衆衛生学				
教員から学生へのメッセージ	解剖生理学、代謝と栄養で学んだ基礎知識を身につけたうえで、授業に出席してください。 授業の予習、復習を行い、確実に知識を身につけて下さい。				